

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	決算額									
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
(1) 健康増進活動の推進	23,936	千円	27,804	千円	26,972	千円	15,137	千円		千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	139,328	千円	119,184	千円	138,574	千円	153,223	千円		千円
計	163,264	千円	146,988	千円	165,546	千円	168,360	千円		千円

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標(1) 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
86.6	85.2	88.1	78.0	89.2		90.0

◆数値目標(2) 過去1年間に健康診査を受けた市民割合(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
66.7	66.0	63.5	63.7	67.6		70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合(高齢期)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
48.8	41.9	28.9	30.4	31.3		55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合(健康に関する情報)(単位:%)

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
45.4	51.5	48.8	50.5	48.8		50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
9,927	9,851	2,867	2,488	4,182		10,000

■成果動向（令和４年度の評価）

・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、感染対策を徹底し、健康づくり事業の定員を徐々に従前に近い人数とするなど、参加機会の確保に努めました。このことにより、健康づくり事業の参加者数は回復傾向にあります。不特定多数の市民を対象とした講話や試食、イベントなどは実施の再開が難しいものもあり、評価指標の数値をコロナ禍以前の水準にすることは難しい状況にありました。

・札幌盲学校跡地の一部を活用した生涯活躍のまち拠点地域「コルクえべつ」が令和３年に全面オープンしたことを踏まえ、大学などの地域の社会資源と連携を図るとともに、感染対策に留意しながら地域交流事業などを実施しました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

・基本的な感染対策を継続しつつも定員の拡大などを図り、小中学校における喫煙予防や生活習慣病予防教室、E-リズムなどの地域での健康教室を開催します。また、コロナ禍で外出機会が減ったことを機に、人とのつながりや活動の機会が減少している方もいることから、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり活動も推進してまいります。

・江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、就労や社会活動、住まい、介護などが一体的かつ継続的に提供される拠点地域「コルクえべつ」を中心に、地域との交流を推進します。

<課題>

○子ども期から正しい生活習慣を身に付ける
 ○自らの健康について関心を持つ市民の増加
 ○運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
 ○健康経営の認知度向上と具体的な取組内容の周知
 ○生涯活躍のまちの認知度向上と生涯活躍のまち形成事業計画の推進

<取組の概要>

・保健師や看護師等による小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
 ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
 ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
 ・健康経営に関する普及啓発活動の推進
 ・生涯活躍のまち拠点地域の市民周知と地域交流の取組の推進

事務事業	成果指標	令和２年度	令和３年度	令和４年度	備考
健康づくり推進事業	参加者数	1,269 人	788 人	2,040 人	左記事業費は、健康相談経費を含む
	補助事業参加者数	393 人	157 人	971 人	
	事業費	5,403 千円	5,877 千円	6,053 千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	1,598 人	1,700 人	2,142 人	
	事業費	249 千円	252 千円	449 千円	
生涯活躍のまち整備事業	拠点地域内施設の利用者等の数	0 人	572 人	1,718 人	
	事業費	11,629 千円	8,845 千円	8,635 千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
39.8	37.0	32.1	35.1	36.9		45.0

■成果動向（令和４年度の評価）

・メイン事業である健康フェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。
 ・介護予防事業については、感染症の影響を受けた前年度に比べ受講人数が増加したことに加え、これまで医療職の行動制限により実施できなかった通いの場等での専門職講話を再開することができました。
 ・各種健（検）診では、令和４年度は、感染対策を講じながら健（検）診機会の確保に努めたことから、受診率はコロナ禍以前の状況に回復しつつあります。しかし、受診控えから、そのまま未受診となる方も少なくないことから、健（検）診の必要性や受診方法等の周知について個別通知などを行っています。
 また、後期高齢者に対しては、フレイル質問票を活用したフレイルチェックにより、フレイルの普及啓発を行ったほか、質問票や健診結果から必要に応じ、個別支援を行いました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

・野菜摂取については、摂取が不足している若い世代や子育て世代を対象に啓発に努めていきます。なお、メイン事業である健康フェスタは、令和５年度４年ぶりの開催を予定しています。
 ・感染対策を徹底し集団検診を継続できるよう受診機会の確保に努めます。がん検診などの必要性を広報等で周知することに加え、電話による受診勧奨を引き続き実施することで一層の受診者数の増加に努めていきます。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防に効果のある野菜摂取推進の取組を実施
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施
- ・高齢者の保健と介護予防を一体的に実施

事務事業	成果指標	令和２年度	令和３年度	令和４年度	備考
健康都市推進事業	健康のために心がけていることがある市民割合	88.1 %	78.0 %	89.2 %	
	事業費	529 千円	837 千円	797 千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	11.2 %	11.1 %	12.9 %	
	事業費	57,490 千円	69,570 千円	80,178 千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	24.1 %	25.1 %	26.2 %	
	特定保健指導利用率	28.9 %	37.3 %	43.6 %	
	事業費	57,905 千円	61,368 千円	64,670 千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	122 人	362 人	754 人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	0 人	0 人	105 人	
	事業費	3,260 千円	3,979 千円	4,377 千円	
高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	－ 人	120 人	741 人	
	重症化予防等の個別支援実施人数	－ 人	135 人	336 人	
	事業費	－ 千円	2,820 千円	3,201 千円	